

企画展示

色止博 色 見くし

いろ・つや・かたちの
アンソロジー

2024
3.12 [火] — 5.6 [月・休]

【会場】国立歴史民俗博物館 企画展示室A

【開館時間】9:30—17:00(入館は16:30まで) 【休館日】月曜日 【入館料】一般 1,000円 大学生 500円

※4月29日(月・祝)は開館、振替休館なし。その他館内メンテナンスのため休館する場合があります。

※高校生以下は入館無料 ※総合展示・くらしの植物苑もご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、混雑状況により入場制限を行う場合があります。

【主催】大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 【後援】一般社団法人 日本色彩学会

【所在地】〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 【問い合わせ】ハローダイヤル 050-5541-8600

れきはくホームページ <https://www.rekihaku.ac.jp> 最新の情報はホームページ等をご確認ください。



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

歴博

色
尽
く
しいろ・つや・かたち
の
アンソロジー

本展示は「いろ・つや・かたち」、すなわち色彩や質感、微細な構造をテーマに館蔵資料を取り上げ、歴史学・考古学・民俗学・自然科学の観点から色と人間とのかかわりについて考えます。権威やおそれの象徴としての色、職人らによって生み出される技芸としての色、「色」というキーワードから、資料の様々な見方を引き出します。

また、それぞれの資料がなぜ歴博にやってきたのか、「こんな資料が歴博にある!」という驚きと、博物館が本質的にもつ「雑然」や「混沌」といった魅力を感じていただければ幸いです。

人間の営みに深くかわわっている「色」：考えれば考えるほど不思議な言葉を、本展示をきっかけに考え、楽しんでいただければと思います。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

- ①東京名所第一之勝景墨水堤花盛の図 三代歌川広重画
②ギボン隕鉄製の脇差（折り返し鍛錬）
③花鳥螺鈿大型円卓（螺文三脚付）
④四季花鳥扇面散時絵芝山象嵌印籠 銘「易政」
⑤疱瘡絵（大張子と鯛車）歌川広重画
⑥王塚古墳 前室正面戸口右側壁 復元模写（装飾古墳壁画模写）
⑦寿印色手本
⑧須恵器 手持付壺／大下田山古墳出土品 すべて本館蔵

交通案内

●京成電鉄利用の場合

京成上野駅から京成佐倉駅（京成本線經由特急利用の場合約55分）下車、徒歩約15分またはバス約5分「国立博物館入口」か「国立歴史民俗博物館」下車

●JR東日本利用の場合

東京駅から総武本線佐倉駅（快速利用の場合約60分）下車、バス約15分「国立博物館入口」か「国立歴史民俗博物館」下車

●自動車利用の場合

東関東自動車道 四街道ICまたは佐倉ICから約15分、国道296号沿い（無料駐車場完備）



展示構成 ※構成は変更となる場合があります。また会期中展示替えを行います。

1. 2棟の建築彩色模型 ～あなたがたはなぜ、歴博に？～
2. 身にまとう色 ～染織工芸の色と模様～
3. ふたつの「赤絵」～色がなす文化、文化がなす色～
4. 漆工芸にみる色彩 ～蒔絵・螺鈿・色漆～
5. 古墳の彩り ～「もの」と「空間」～
6. 鉄の隕石で作られた刀剣 ～ウィドマンシュテッテン構造が生み出す隕鉄の質感～

関連する催し物

○第452回 歴博講演会

4月13日（土）13:00～15:00 本館講堂

「歴博の少し不思議な資料の話 ～『歴博色尽くし』展に寄せて～」鈴木卓治
（申し込み方法等詳細はホームページをご確認ください）

○ギャラリートーク（詳細はホームページをご確認ください）

同時開催

くらしの植物苑特別企画「伝統の桜草」

4月9日（火）～4月30日（火）



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History